

SYOHEI ニュース 令和7年2月号

奥州市医師養成事業奨学生の状況

1 新規奨学生採用状況(過去5年間)

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	合計
採用数	3	1	1	2	1	8人

2 奨学生の義務履行等の状況(奨学生等12人中)

- ① 専任医師として勤務 2人
- ② 週1回の診療応援での義務履行 1人
- ③ 県内医療機関での専門研修 1人
- ④ 県外医療機関での専門研修 1人
- ⑤ 医学生 7人

令和7年1月現在

大谷選手の歩み(年表:奥州市ふるさと応援団HPほか)

1994年7月6日 奥州市で誕生
2001年4月市立姉体小学校入学
小学校時代は水沢リトルリーグに所属
2001-2006



2007年4月 市立水沢南中学校入学
中学校時代は一関リトルシニアに所属
2007-2009



2010年4月 花巻東高校入学
2011年8月と2012年3月甲子園出場
2013年3月 北海道日本ハム入団
2015年1月11日



奥州市の成人式に参加

(市広報でのインタビュー時の写真)

2018年4月 MLB ロサンゼルス・エンゼルス入団
2018年11月 ア・リーグ最優秀新人に選出
2019年6月 MLB 日本人初サイクル安打達成
2021年7月 MLB 史上初リアル二刀流でオールスター出場

2021年11月 ア・リーグ最優秀選手賞に選出
2022年8月 MLB104年ぶりの2桁勝利2桁ホームラン
2023年3月 WBC世界制覇 最優秀選手賞に選出
2023年8月 MLB史上初2年連続2桁勝利2桁ホームラン
2023年10月 日本人初のMLB本塁打王獲得
2023年11月 ア・リーグ2度目のMVPを満票で選出
2023年12月 ドジャースに移籍決定
2024年9月 MLB初の50本塁打・50盗塁達成
2024年 主なタイトル

ナ・リーグ本塁打王(54本)、打点王(130打点)、ESPY
賞最優秀MLB選手、選手間投票ナ・リーグMVP、米専
門誌の年間最優秀選手DH部門、正力松太郎賞特別賞、
シルバースラッガー賞ナ・リーグDH部門、エドガー・
マルティネス賞、ハンク・アーロン賞、オールMLBチー
ムDH部門ファースト、

2024年11月 ナ・リーグMVPを満票で選出

2024年シーズン成績: 打者部門

159試合・打率310 本塁打54 打点130 盗塁59

奥州市のイベントニュース

第36回全日本農はだてのつどい

- 1 開催日時 R7.2.8(土)15:00~
- 2 会 場 胆沢野球場北側駐車場
- 3 内 容 平成2年より開催されてきました
奥州市胆沢地域恒例の冬のまつり「全日本農は
だてのつどい」は、
今回の第36回で最後
の開催となります。

一年の農作業の安全
と豊作を祈願し、庭田
植行事の再現や福餅つ
き、縄ないチャンピョ
ン決定戦、厄年連によ
るつがい踊り、冬花火
の打ち上げなどが行わ
れます。



農はだてとは 正月十日間の休みが明けて1年の農作業
の準備を始める日をいう

その日は、早朝から 男たちはモドツ(太い縄)などを縛い
女たちはツナギを結び 肥出しと称し小さく丸めたワラを雪上に
置く 朝食前には福取餅が出された

昔ながらの風習が失われようとするとき 農耕文化の再生と
地域の活性化を目指す 全国的な広がりを作り出そうとするの
が「全日本農はだてのつどい」である

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です。
令和7年1月23日発行 奥州市医療局医師確保推進室
〒023-0053 奥州市水沢大手町3-1 TEL0197-25-3833
市医療局HPにバックナンバーを掲載しています。 第58号

奥州市HPの中の「奥州市の先人」コーナー。今回は「北上夜曲」作詞者の菊地規をご紹介します。
岩手が生んだ愛唱歌「北上夜曲」誕生物語 菊地規(のりみ) (1923 年～1989 年)

日中戦争の真っただ中の 1941 年(昭和 16 年)2 月、まさに軍歌や行進曲全盛の中で「北上夜曲」は生まれた。当時作詞者の菊地規(のりみ)は 18 歳、作曲者の安藤睦夫は 17 歳、歌にもりこまれた青春のロマンチズムは、軍国の風潮に対する、若者のささやかな反抗でもあった。



作詞者の菊地規は、1923 年江刺郡田原村(現奥州市江刺田原)に生まれた。

水沢農学校(現水沢農業高校)在学中から作詞をはじめ、友人たちと同人誌を発行するなど、文学の創作活動をしていた。

当時、水沢農学校には、安藤という配属将校がおり、規ら文学青年は安藤の下宿に出入りしていた。この将校が安藤睦夫の叔父にあたる。旧制八戸中学の生徒であった睦夫は、叔父の下宿を訪れ規と出会い、意気投合。歌を作る約束をした。

睦夫に曲をつけてもらうために、1940 年 12 月に規が初めて作詞した七五調の定型詩が「北上夜曲」だった。翌年 2 月睦夫は規から渡された歌詞の曲作りに没頭し「北上夜曲」生まれた。

盛岡市の岩手師範学校に進んだ規は、寮でオルガンを弾きながら級友と「北上夜曲」を歌った。

睦夫も、勤労動員先で、仲間と「北上夜曲」を合唱した。こうして、この歌は暗い時代に咲く日陰の花のように岩手県の若人の胸に広がり、やがて敗戦を迎えた。

その後、規も睦夫も、ともに教師の道を進んだ。

1957 年、広島県呉市で第 1 回青少年赤十字リーダー研修会が開かれ、仙台代表として参加した高校生から「北上夜曲」が披露され、参加者は、この歌をノートに記して大合唱し、会のテーマソングに決定した。歌は参加者によって全国に広められ、若者たちの心から心に伝えられた。

日本がようやく敗戦から立ち直り、高度経済成長期に向かおうという 1960 年頃、全国津々浦々に現れた歌声喫茶で、「北上夜曲」は大いに歌われた。しかし、流行を続けながらも作者が分からず、作者不明という事情がますますこの歌を神秘的なものにした。

1961 年になり、作者が名乗り出た。作詞は、江刺市出身(現奥州市江刺)の菊地規(のりみ)、作曲は種市町(現洋野町)出身の安藤睦夫(むつお)であった。「北上夜曲」の作者が分かり、この歌が、あの暗い時代に十代の手によって作られていたという話題は、一大センセーションを巻き起こした。

この歌はいくつものレコード会社が競作した。和田弘とマヒナスターズ、ダークダックス、菅原都々子さん他レコード会社六社が 22 種類のレコードを発売し、新聞、週刊誌は競って記事を掲載した。さらにソノシート吹き込み三社、NHK ラジオドラマ、放送など、ダイヤルを回せばどこかの局が歌謡番組で必ず放送しているほどの日が数カ月も続いた。また、松原智恵子さん(当時 17 歳)を初主演に起用した映画をはじめ、映画会社三社の北上川河畔ロケ合戦が繰り広げられた。

このように、「北上夜曲」は、国民的愛唱歌として現在も歌い継がれている。

奥州市水沢の小八木橋の袂
に建てられた北上夜曲歌碑



北上夜曲
作詞 菊地規
作曲 安藤睦夫
1 匂い優しい 白百合の
濡れているよな あの瞳
想い出すのは 想い出すのは
北上河原の 月の夜
2 宮の灯 点すころ
心ほのかな 初恋を
想い出すのは 想い出すのは
北上河原の せせらぎよ
3 銀河の流れ 仰ぎつ
星を数えた 君と僕
想い出すのは 想い出すのは
北上河原の 星の夜
4 僕は生きるぞ 生きるんだ
君の面影 胸に秘め
想い出すのは 想い出すのは
北上河原の 初恋よ